



タイ人実習生の皆さんがお揃いで着ていたポロシャツのバックプリント

あじけん通信

2018 OCTOBER
VOL.129

株式会社きぼう国際外語学院

企画・編集 澁谷 健司

10月に入りました。例年であれば、「ようやく過ごし易い日々になりました・・・。」との書き出しなのですが、今年は未だに25度を越える夏日もあるほどで、まだまだ「あつい」日々が続いています。

でも、そう感じるのは私たち日本人だけのようで、来日したばかりの実習生の皆さんは、既に「さむい」と感じているようです。「せんせい、さむいです」「えっ、これでさむいの?」と聞くと、「はい、フィリピンは今暑いですから」と言われ、多くの実習生の皆さんが、気候の全く異なる東南アジアから来日していることを実感させられます。

いつも一緒にいると、つい忘れてしまいがちですが、実習生の皆さんは、気候も文化も、もちろん言葉も違う国から来ているという「違い」を常に認識し、これからも、実践的な日本語コミュニケーション能力の育成に、取り組んでいきたいと思えます。

あじけんスコープ Vol.68 ~ベトナム式ランチタイムの楽しみ方~



おかずを囲んで楽しいランチタイムの始まり!



メニューは向かって左から順に

Nuc Xao Ngu Qua

(ムック シャオ グ グア)

イカ、人参、玉ねぎの炒め物

Ca Kho Chien (カ ホ チェン)

小魚と落花生のピリ辛佃煮

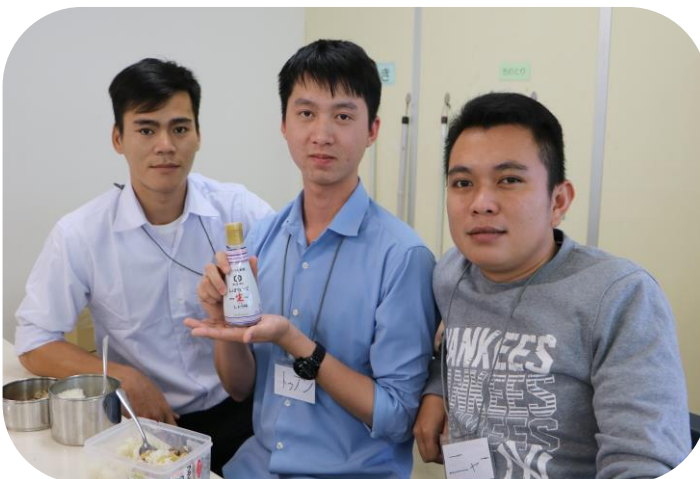
Canh Cai Thao (ケン ガイ タオ)

豚肉と白菜のスープ

今月のアジ研スコープは、「食欲の秋」と言う事で、ランチタイムの教室を取材。直ぐに目に留まったのが左の写真のベトナム人実習生テーブル。大きなタッパーに入れた3品のおかずを囲むようにして、とても楽しそうにお弁当?を楽しんでいました。私達が描くお弁当のイメージとはかけ離れていて、まさに目から鱗のお弁当。

異文化が交差するアジ研では、毎日のように「常識」の脆さを思い知らされます。

今月の実習生



写真向かって右: NGUYEN DUC NHA(ニャー)さん

中央 BUI VAN THUAN (トゥアンさん)・左: BUI VAN THUAN (ダイン)

今月は昼食風景の取材で入った教室で、醤油のボトルを片手に、「せんせい、せんせい、にほんのしょうゆはダメです・・・。」と私を呼び止めたベトナム人実習生、写真向かって右からニャーさん・トゥアンさん・ダインさんの3人を紹介します。

にほんのしょうゆはちょっとあまいです
から、まだなれません。 ニャー
ベトナムでナンプラーをよくつかいますが
にほんのナンプラーはとてもたかいです。トゥアン
日本のしょうゆはベトナムのナンプラーと
ちょっとちがいますから、なれません。 ダイン

番外編

講師研修会

～実習実施機関見学～

今年も、受け入れ団体様及び実習実施機関様のご協力を得て、本校卒業生の実習現場を見学することが出来ました。今回は、茨城県にある㈱LIXIL 岩井工場を見学させて頂きました。工場見学だけでなく、実習生が現場に入る際に行なわれている事前研修の内容や、実際の作業内容、実習生が実習現場でどんなコミュニケーションをとっているかなどについて、実習生担当の方からお話を聞かせて頂くことも出来ました。実習生の中には、日本語力を活かし、日本人スタッフと一緒に作業内容の改善提案を行なうなど、貴重な経験を積んでいる人もいます。

また、工場内は、実習生代表の2名が流暢な日本語で案内してくれました。2人の日本語の上達には、驚くばかりでした。今回の見学を通して、実習生の皆さんの母国での事前研修と日本の実習実施機関での技能実習の間の「橋渡し役」としての本校の役割の大切さを再認識することが出来ました。見学した講師陣からは、「カタカナ語やアルファベットの読み方など、日本語文法以外の項目にも注目して授業を展開したい。」等の新たな視点からの気付きの声が聞かれました。

これからも「技能実習生のための実践的な日本語教育」を推し進める為の一環として、実習実施機関への見学会を積極的に行なっていきたいと考えておりますので、これからもご理解・ご協力、どうぞよろしくお願い致します。



見学前の担当者からの実習生受入体制の説明



作業内容を説明してくれた実習生。当校で日本語指導を担当した恩師小澤とのスリーショット。



工場見学の後は、講師からの質問答えていただきました。



実習生・実習生担当の皆様との記念撮影。皆さん、本当にお世話になりました。

※当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーもご覧になれます